



桜コレクション

4月1日金 ▶ 5月13日金

10時～17時 (土・日・祝日休館)

大きな桜の花は瀬栄陶器製で、花びら一枚一枚まですべて陶磁器で造られた珍しい作品です。

左のウィスキーボトル(1985年)の画「春爛漫一桜の名古屋城」は、藤森兼明画伯(日本芸術院会員)の作品です。

その他、森健陶器、加藤茂、山田宏子、平林真実の桜柄の上絵付け作品を展示しています。(名古屋絵付け職人の技をお楽しみください。)

陶磁器上絵付け1級技能士・ボタニカルアーティスト

安藤栄子ボタニカルアート展示

4月1日金 ▶ 5月13日金 10時～17時 (土・日・祝日休館)

東京国立科学博物館主催植物画コンクール入賞作品ほか、春の花をモチーフにした陶磁器上絵付け作品を展示します。



ボタニカルアートとは

ボタニカル(植物学)、アート(美術)の意で、植物をありのままに、かつ芸術的創造性と植物学的正確さで描いた絵のことで、古くは、葉草を見分ける為にギリシャや古代エジプトなどで図譜としてもちいられてきました。大航海時代になり、ヨーロッパ諸国が世界各地を探索して、珍しい植物を求め奥地に入って行き、写真のない時代に植物学者と画家が協力して、本国に植物画として送りました。そこで初めて見る植物への関心と、植物学的にも完成され、絵画としての芸術性がすぐれていた為、ボタニカルアートとしてイギリス・フランスを中心に発展していきました。またインテリアとしてボタニカルアートを室内に飾ることが、19世紀にはヨーロッパでは大いに流行しました。近年では、絵画と植物学的な知性を併せ持つ芸術として、ボタニカルアートは一般的に知られるようになりました。どうぞ、ボタニカルアートの世界をお楽しみ下さいませ。

国登録有形文化財・名古屋市景観重要建造物

名古屋陶磁器会館

〒461-0025 名古屋市東区徳川一丁目10番3号
 (TEL) 052-935-7841 (FAX) 052-935-9592
 (メール) pottery@nagoya-toujikaikan.org
<http://nagoya-toujikaikan.org>
 フェイスブック
<https://www.facebook.com/nagoyatoujikaikan>

◆開館時間/月～金(10時～17時)入館無料

◆休館日/土・日・祝日休館

○市バスでお越しの場合

乗車バス停	系統	行き先	下車バス停
栄	基幹2	引山・四軒家	赤塚白壁
名古屋駅	基幹2	光ヶ丘・猪高車庫	(徒歩3分)

○地下鉄でお越しの場合

地下鉄 桜通線 高岳駅2番出口より徒歩20分

○お車でお越しの場合

当館に2台駐車スペースがございますが、満車の場合は右記Pマークのコインパーキングをご利用ください。

